

## 第1回ワークショップ

# 卓上低真空走査電子顕微鏡

## — 卓上低真空走査電子顕微鏡による微小表面観察の応用 —

近年、各種材料の微細化や多機能構造を有する材料がめまぐるしく発展し、この各種材料の評価がクローズアップされてきております。この各種材料の表面や断面の評価手法として、おおきな威力を発揮するのが走査電子顕微鏡です。従来CCD デジタルスコープで観察を行っていた数千倍程度の観察を、焦点深度が深く、前処理なしで行える卓上低真空走査電子顕微鏡で行うことが着目され、大きな成果を挙げております。当施設ではTM3030を既設しており、学内外の皆様にご活用いただいております。

この度、当施設ではメーカーにご協力をいただき、さらに**高倍率・高画質**を実現した『**TM4000Plus**』のワークショップを開催することとなりました。『**TM4000Plus**』は低真空下で**反射電子像・二次電子像・合成像観察**が可能です。また、**加速電圧**を5KV、10KV、15KVに設定して観察することができます。

この機会に是非、『**TM4000Plus(EDS付属)**』でお手持ちの試料の**形態観察、元素分析**を行ってみてはいかがでしょうか。皆様のご参加をお待ちしております。

**参加無料**



### TM4000Plus

- 1 直観的な操作で目的データをレポートまで支援。
- 2 新設計の電子光学系によりさらに高画質を実現。
- 3 オイルフリーの排気系により場所を選ばず設置できる環境配慮型SEM。

**日 時**／ 平成**30**年**12**月**5**日（水） 9：00～16：00

各研究室毎に1時間程度を予定しています。  
申込時に希望の時間帯をお知らせください。

**場 所**／ 富山市新産業支援センター4階 研修室

**定 員**／ **7組**（定員になり次第締め切ります）

**講 師**／ 株式会社日立ハイテクノロジーズ 科学システム営業本部 **上村 健 氏**

**申込方法**／ 必要事項を記入し、**E-mail**でお申込みください。

【必要事項】

（件名）「ワークショップ参加希望」

（本文）①研究室名

②希望の時間（午前・午後・どちらでも）

③差支えない範囲で測定試料の情報をお聞かせください。

**申込締切**／ **11月30日（金）**



マスコットキャラクター  
ぶんせきっず

**申込・問合せ先**

研究推進機構 研究推進総合支援センター 自然科学研究支援ユニット 機器分析施設  
内線番号（6715）

E-mail： [cia00@ctg.u-toyama.ac.jp](mailto:cia00@ctg.u-toyama.ac.jp)